

キウイフルーツ農地集約利用モデル・第1園地(玉城町・2019～) 約8ha

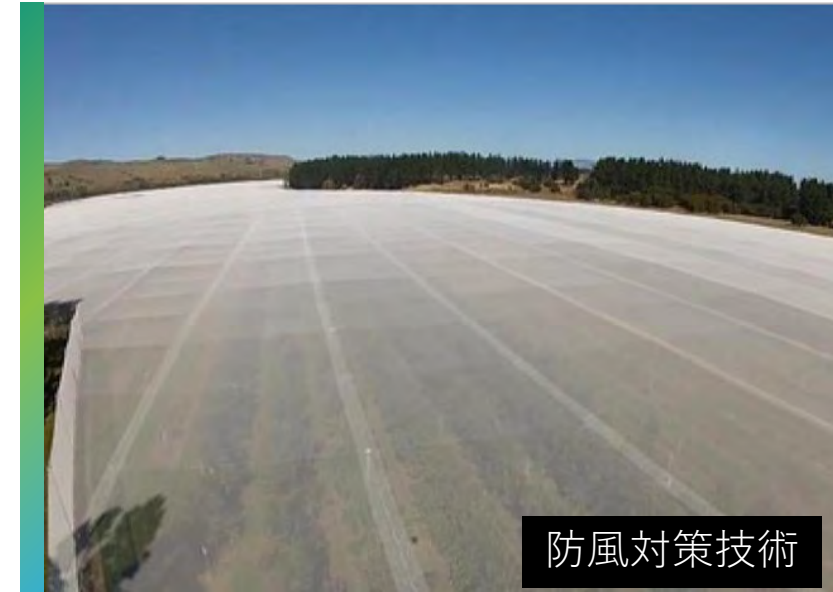


キウイフルーツ農地集約利用モデル・第2園地(津市・2024～) 約7ha



Kiwifruits Orchard in Tamaki

with Zespri



◆施設園芸・ミニトマト（4.2ha）モデル



規模

- ・ 平均（0.3ha）の14倍のハウス面積

単収

- ・ 平均（8ton/10a）の4倍の収穫量

社員数

- ・ 120名（パートタイム含む）

投資回収

- ・ 7-10年程度

◆露地果樹・キウイフルーツ（7.3ha）モデル



- ・ 平均（1.2ha）の6倍の園地面積

- ・ 平均（1ton/10a）の5倍の収穫量

- ・ 15名（パートタイム含む）

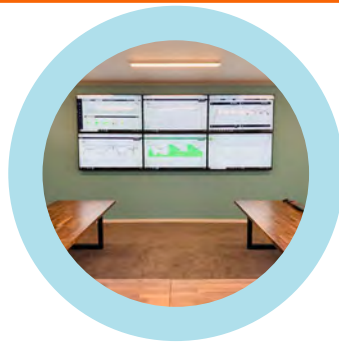
- ・ 10-15年程度

OUTPUT
最大化

に貢献する
スマート技術



高度施設環境制御
生産量↑/品質↑/リスク↓



データ比較共有
カイゼン↑/リスク↓



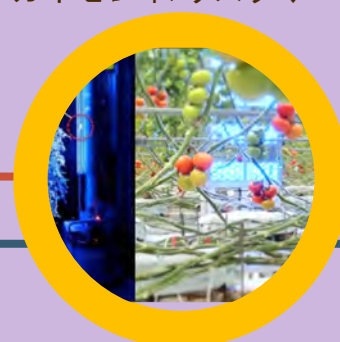
光合成チャンバー
生産量↑/リスク↓



補光LEDライト
生産量↑/品質↑



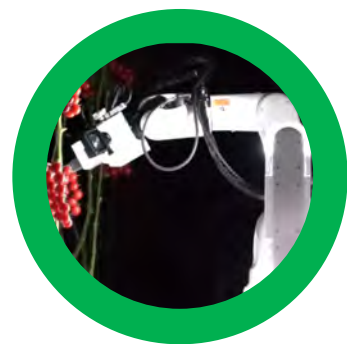
スマートフィット
作業効率↑/リスク↓



クロロフィル計測
生産量↑/リスク↓



動画マニュアル
労務費↓/品質↑



トマト収穫ロボット
省力化↓/平準化↓



排液循環システム
原価低減↓/環境負荷



労務管理システム
労務費↓/品質↑



自動搬送ロボット
省力化↓

INPUT
最小化

に貢献する
スマート技術

